

令和元年度

NO. 9

11月号



# 小学部だより

作新学院小学部

令和元年10月28日

<http://www.sakushin.ac.jp/>

— 小春日の子どもへ行くにも長靴で 安田のぶ子 — 「小春日」とは、11月から12月上旬の、春のように暖かな日差しに包まれた日を言います。そんな暖かくて晴れた日なのに、長靴を履いた子がトコトコと……。小さな子どもって長靴が大好きですね。どこに行くにも長靴！お母さんのちょっと困った笑顔まで思い浮かびます。

10月17日の公開授業参観には、多くの皆様のご来校、ありがとうございました。来年度入学希望の保護者の方々もおいでになり、子どもたちはいつもより少し緊張している様子でしたが、明るく積極的に授業に取り組んでいました。

また、25日に予定していた秋祭り、保護者役員の皆様やおやじの会幹事の皆様においでいただきお店やゲームコーナーを準備していただいていたのに、洪水警報のための早帰り！ただ、午前中は「小さなサーカス団 talattalatta」の大道芸を鑑賞して子どもたちは大興奮、短かったけれど楽しい時間を過ごすことが出来ました。

さて、11月5日(火)は長距離走大会です。子どもたちはそれぞれの体力に応じ、それぞれに目標を立て、一生懸命に練習に励んでいます。上位入賞を目指す児童もいれば、完走が目標の児童もいます。長距離走大会は素晴らしい成績を収めることだけが目的ではありません。辛くても練習に励むことや、完走を目指し最後まで走りぬこうと努力をすることで心身ともに鍛えることを目的としています。大会当日、子どもたちそれぞれの活躍を期待しています。病気などの特別な事情のない限り、ご家庭でも前向きの姿勢で取り組ませてください。健康管理と励ましのお声掛けをぜひお願いいたします。

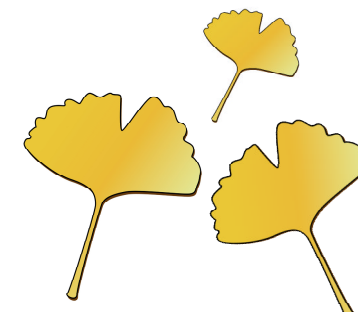
また、そろそろ風邪やインフルエンザの流行が心配な季節になります。予防対策を心がけてくださいますようお願いいたします。

## 11月の行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
5	火	長距離走大会・児童募集開始	20	水	社会科見学クリーンパーク茂原(4年)
6	水	長距離走大会予備日	22	金	小学部入試準備
7	木	宇都宮市陸上大会予備日	23	土	小学部入試・勤労感謝の日
8	金	児童募集締切	24	日	中等部第1回入試
11	月	聖話	25	月	聖話・判定会議
12	火	委員会活動・宇小教研	26	火	児童集会(2年)
14	木	感謝祭	27	水	社会科見学(株)オイシア(3年)

## 連絡事項

- 5日(火) 第60回長距離走大会です。  
場所：今市青少年スポーツセンター 開会時間：9:20  
服装、持ち物等の詳細は別紙のお知らせをご覧ください。  
予備日は翌6日(水)です。
- 5日(火) 小学部児童募集が始まります。  
募集のメ切は11月8日(金)です。
- 10月31日(木)の第48回宇都宮市陸上競技大会の予備日は11月7日です。
- 12日(火) 宇都宮市小学校教育研究会が行われます。  
児童は3時間授業、給食終了後12:30頃の下校となります。
- 14日(木) 感謝祭  
11月の第4木曜日は、キリスト教の祝日である感謝祭です。  
この行事は、幼・小・中等部3部が行います。小学部では、4年生が代表して老人ホームなどの福祉施設を訪問します。  
\*果物や野菜は前日にお持たせください。
- 20日(水) 4年生の社会科見学があります。(クリーンパーク茂原)
- 22日(金) 入試準備のため下校時間が変更になります。  
1~4年生 下校 14:00      5年生 下校 16:00      6年生 下校 15:00
- 23日(土) 小学部入学試験  
5年生児童には、お手伝いをお願いします。勤労感謝の日で学校はお休みですが、ご理解とご協力をお願いいたします。
- 25日(月) 判定会議のため午前中授業です。下校 13:30
- 27日(水) 3年生の社会科見学があります。(株)オイシア)



## SNS等のネットトラブル防止についてお願い

昨今、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)による犯罪やいじめが青少年を巻き込み、大きな社会問題となっていることは皆様もご存じの通りです。小学部でもこのような状況を憂慮し、お子様の安全を最優先に考え、学校に持ち込む携帯電話は学校指定の機種のみ限定しております。しかし、残念ながら、過去には学校以外で私的に所有しているスマホなどでSNSを利用し、危うくトラブルに発展しそうなケースもあります。最近は携帯電話やPC以外の機器からでも簡単にSNS等のアプリケーションをインストールでき、その手軽さが様々な問題を誘発している要因でもあります。警察でも人権侵害やいじめと判断された場合は積極的に関与する姿勢をとっております。私達大人も、改めて「簡単・便利なものであるが、大きな危険性も潜んでいる」ことを認識し、学校でも指導を続けてまいります。ご家庭でも折に触れお子様とお話しいただくことがお子様の安全確保の第一歩ではないかと思っております。